



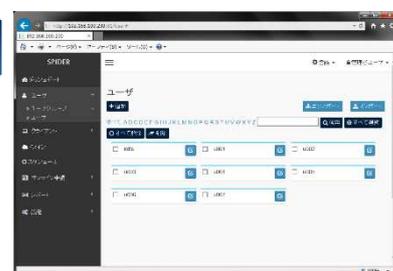
特権 ID 管理ソリューション **スパイダーPRO**
SPECIAL ID MANAGER



特権/通常 ID の発行・利用管理
特権/通常 ID の不正発行・利用検知
管理者不在環境での遠隔管理
海外環境への遠隔管理
ID 発行スケジュール管理
一般ユーザからのオンライン申請
Windows/Linux 環境への対応
Windows AD 環境への対応

エージェントレスで管理を実現

SPIDER はエージェントレス(常駐プログラム不要)のシステムです。1台のコンピュータに SPIDER を導入するだけで特権 ID 管理システムを構築できます。SPIDER は必要ときに ID 管理の対象となるコンピュータに問い合わせるだけなので、対象コンピュータのリソースを消費しません。



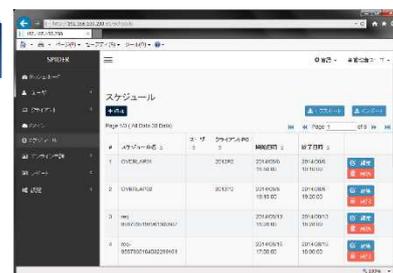
USB 機器による多要素認証ログオン

SPIDER は、発行する特権/通常 ID による通常認証のほかにも、多要素認証ログオンにも対応しています。SPIDER の多要素認証ログオンでは、USB 機器をログオン時の要素として利用します。管理者より発行された認証用 ID と多要素認証ログオンを利用する際、あらかじめ管理者が登録した USB 機器をログオン先のコンピュータに接続します。Windows のリモートデスクトップによるログオンにも対応しており、その場合はリモートデスクトップを起動しているコンピュータに USB 機器を接続します(リモートデスクトップを利用するクライアントコンピュータを SPIDER に登録する必要があります)。



直接ログイン制御を実現

SPIDER は、ゲートウェイサーバを通す“ゲートウェイ制御型”の製品ではありません。SPIDER が直接、ローカル ID の作成、削除、有効、無効を管理する、“直接ログイン制御型”の製品です。ですから登録されていない ID で直接ログインすることも阻止できます。



スパイダーの主な機能

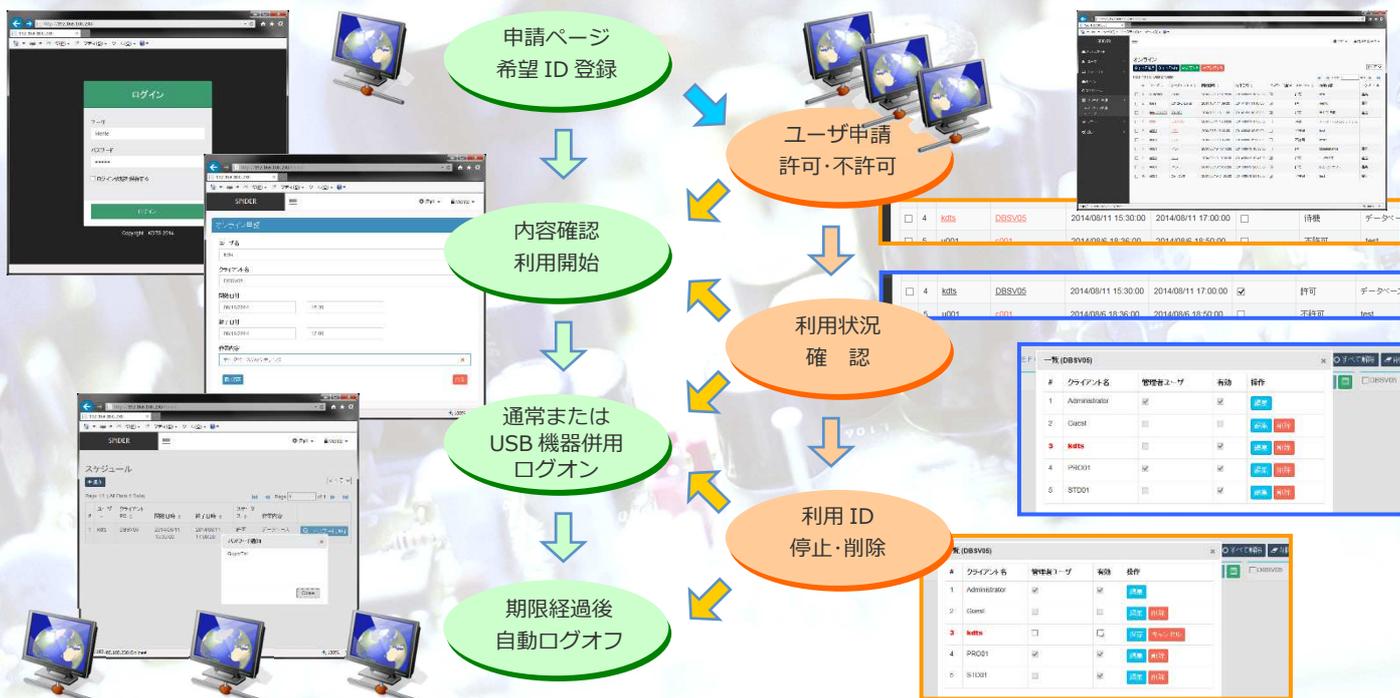
SPIDER には主に次のような機能があります。

- ユーザによるオンライン申請(利用ユーザ、PC、日時、理由)、申請結果の確認、利用パスワードの確認
- 管理者によるユーザ向け申請用アカウントの発行・管理(ユーザ ID、パスワード)、管理者によるユーザからのオンライン申請の許可・不許可
- 利用 ID(ユーザ ID、パスワード)の登録
- 対象 PC(ホスト名、管理者ユーザ ID、管理者ユーザパスワード)の登録
- ドメイン情報の登録(ドメイン名、管理者ユーザ ID、管理者ユーザパスワード)
- 利用スケジュール(ID、PC、日時)の登録
- ログレポート(ユーザー一覧、クライアント一覧、スケジュール一覧)

オンライン申請の一例

申請ユーザ側

管理者側



SPIDER 動作環境(推奨)

	SPIDER サーバ	管理対象 PC
CPU	マルチコア CPU 3.0GHz 以上	-
メモリ	8GB 以上	-
HDD	本体 50MByte 10MByte 以上のデータベースを作成します。	-
モニタ	XGA(1,024x768)以上の解像度	-
OS	Windows Server 2019(64 ビット版), Windows Server 2016(64 ビット版)	Windows Server 2019, Windows Server 2016 Windows Server 2012R2, Windows Server 2008R2 Windows 10, Windows 8.1, Windows 7 Linux(Debian, Red Hat その他 OS はご要望によります)
他	Microsoft Internet Information Services Microsoft .NET Framework 4	Windows : Open SSH が利用可能なこと Linux : SSH が利用可能なこと。

※記載されている会社名、製品名、システム名は、各社の登録商標または商標です。※通知なく製品の仕様を変更する場合があります。ご了承ください。※2021年5月現在の仕様です。

— お問合せ先 —

— 販売代理店 —

株式会社セントラル情報センター

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂 2-16-4 野村不動産道玄坂ビル

■電話でのお問合せ：03-3496-1674

■インターネットでのお問合せ：<https://www.cic-kk.co.jp/inquiry>